

指定管理者評価票(評価対象年度:令和5年度)

施設名	国分寺市プレイステーション	所属名	子ども家庭部 子ども子育て支援課
指定管理者名	特定非営利活動法人冒険遊び場の会	指定期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
施設の設置目的	青少年の健全育成を図る。		
事業概要	青少年が生き生きと安全に遊べる冒険遊び場として、国分寺市プレイステーションを運営する。		

単位:円

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	累計	
収入	31,256,302	30,783,649	34,270,133	96,310,084	
収入内訳	指定管理料	29,571,840	30,108,105	34,170,000	93,849,945
	利用料金	0	80,500	88,600	169,100
	その他	1,684,462	595,044	11,533	2,291,039
支出	31,256,302	30,783,649	34,270,133	96,310,084	
収支差額	0	0	0	0	

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指標	評価項目	評価	理由	前年度	前々年度
画収 確の 支 性 適 計	収支計画に基づき適正に執行されたか	3	収支計画に基づく執行状況は、適正であることを確認した。	3	3
業務の 履 行 状 況 の 評 価	協定等に基づき業務が実施されていたか	3	協定書及び仕様書等に基づいて、施設の特 性、利用者の年齢等に配慮し、適切な運営 がなされていた。	3	3
	開館予定日数・開館時間は守られていたか	3	職員のシフト表、タイムカード、活動日誌等 にて、仕様に基づく開館日及び時間は守ら れていた。	3	3
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっていたか	3	協定に基づき、安全面に配慮した必要な人員が 配置されていた。シフト変更の際の体制につい ては、シフト表に反映されており執行体制が明確 であった。	3	3
	管理運営に必要な有資格者(防火 管理者等)が確保されていたか	3	防火管理者を置き、適切に避難訓練等が実 施されていた。防火管理者名の施設内掲示 もなされていた。	3	3
	書類は適正に保管され、必要な報 告がされていたか	3	電磁的記録装置使用簿が整理され、時機を 逸することなく適正に報告がなされていた。	3	3
	施設全体が清潔に保たれていたか	4	施設内の備品、掲示物等、しっかり整理整 頓がなされており、施設全体が清潔に保た れていた。	4	4
	法定点検や検査等は確実に実施 されていたか	3	機械警備と清掃について、仕様書に基づき適切 に実施していた。法定点検については施設所有 事業者による点検を行っていることを確認した。	—	—

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	3箇年平均
利用者数 利用件数 利用率	22,287人	25,096人	25,574人	24,319人
利用者満 足度(%)	96%	96%	97%	96%

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指標	評価項目	評価	理由	前年度	前々年度
サービスの質に関する評価	利用者の満足度はどうであったか	5	利用者アンケートにおける評価が、子どもアンケートでは、楽しかったの回答が97%、再度利用したいという項目が99%、大人アンケートでは、100%が職員に対して「よい感じ」との回答となっていた。自由記述では、職員への信頼が感じられる記述が多数あり、利用者の満足度が高いと言える。	4	4
	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	4	アンケート等により寄せられた利用者の声を受け止め、サービス向上に向け利用者の目線に立って解りやすく回答を示し、利用者へ開示していた。	4	4
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であったか	4	担当者のマナー、言葉づかいは、利用者の幅広い年齢層に合わせて、明るく声をかけ、適切な対応をしており、服装等は、利用者からスタッフとわかるようにピブスを着用し適切であった。	4	4
	クレーム等に対して適切に対処していたか	4	近隣からの意見に対し、状況の改善に努めるため、迅速にきめ細かく丁寧に対応していた。青少年の健全育成に係る対応での苦慮もあり、辛抱強く対応していた。	4	4
	個人情報適切に取り扱われていたか	3	個人情報は鍵付きのロッカーに保管し適切に格納されていた。	3	3
	業務に必要な研修を実施していたか	5	職員全員参加の研修を、定期的実施している。充実度、意識の高さを感じた。また、ロールプレイングを取り入れた実践的な研修が行われており、研修で学んだことが日々のサービスの向上につながっている。	5	5
	合理的配慮等、障害者への対応は適切であったか	4	受入れに当たり、駐車場の配慮、野外遊び場の歩道の活用等、先方に寄り添う形で受け入れており、障害児のサービスを提供する事業者を含め、多くの障害のある人が安心して利用できていた。	3	3
	業務の改善が図られていたか (※改善の指摘事項があった場合のみ記載)	—		—	—
施設の準性の評価に応じた	プレイリーダーの育成に関する講習会等は効果的に実施されているか	4	第1回目は5月21日に、フィールドワーク「外遊びを10倍楽しむスキル」というテーマで実施し、乳幼児のうちから戸外で自然に触れて遊ぶことの重要性を実践を伴い伝えることができた。第2回目は、12月17日に、シンポジウム「いろんな人と一緒に遊ぶあう・支え合う」を実施し、地域社会に溶け込み実際に活動する団体を招き、様々な人と共に生きることの工夫について学ぶことができていた。実施後には、プレイリーダーへの関心が寄せられており、効果的な実施となっていた。	4	—

※指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案又は自主事業の提案があった場合の実施状況について、総合評価への加点の参考とすること(提案内容と実施状況の詳細は別紙確認票に記載すること)。

指標	評価項目	有無	実施状況	有無	前年度	前々年度
関実提案選定時の状況内容の評価	指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	提案有無 有 実施有無 有	提案有無 有 実施有無 有
	指定管理者の選定時に、提案書において自主事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	提案有無 有 実施有無 有	提案有無 有 実施有無 有

主管課長の評価				
総合評価	評価の理由等		前年度	前々年度
5	市の要求水準を大幅に上回っている	<p>令和5年度においても本施設は、土や水などを使った遊びをはじめ、木工作、炭づくり等の火を使った体験、ひみつ基地づくりなど、自然や野外での様々な遊びを体験できる場を創意工夫しながら提供し、利用者の満足度も高く、青少年の健全な育成に大きく寄与した。また、昨年度に引き続き「冒険遊び場における新たな子どもの仕事体験・居場所づくり推進事業」として令和5年度までを一区切り、子どもが店員として仕事を体験できる「駄菓子屋」、中・高校生世代が自ら居心地のいい場を作っていくようにしている「夕暮れカフェ」及び子育て中の親子の交流の場としている「土日カフェ」の取組をそれぞれ継続し、指定管理事業と一体的に実施してきたことにより、全体的な利用者が増加した。本施設への移転後4年目を迎えたところだが、乳幼児親子から中高生世代まで幅広い世代の遊び・くつろぎ・交流の場所として機能していることを捉えることができた。中高生世代の居場所を保障する中では青少年の問題行動の対応に苦慮したが、他機関との連携を図り辛抱強く関わりを続けたことで、利用者ニーズの多様化を理解し連携で支え合うスキルを構築していた。</p> <p>今後も引き続き、安全管理には十分留意しながら、効果的な施設の管理・運営に努められることを期待したい。</p>	4	4
		主管課長：子ども子育て支援課	氏名：山元 めぐみ	

指定管理者の評価				
総合評価	評価の理由等		前年度	前々年度
5	市の要求水準を大幅に上回っている	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、全体の利用者は、イベントを除き、25,574名だった。昨年度と比べ、478名の利用者が増加した。そのうち、親子ひろばの利用者は10,567名で前年度より、1,192名増加した。駄菓子屋、土日カフェの効果もあり、土曜日の利用者がとても多く、利用者増加に伴い、安全確保のためにプレイリーダーを加配しての活動を行った。また、その人数に加え、夕暮れカフェでの中高生は、1,343名の利用があった。夕暮れカフェ開設前は中高生の利用がとても少なかったもので、格段に増加し、中高生の居場所として機能し始めている。1年を通じて行った「駄菓子屋」「土日カフェ」「夕暮れカフェ」の活動がプレイステーションの利用者増に加え、小学生、中高生、親子たちそれぞれにとつての、いい居場所となったことが実感できた1年だった。 ・利用者アンケート(1ヶ月間実施)からは、プレイステーションの満足度は、大人100%、子ども97%、親子ひろばは、96%であった。自由記述欄からは、プレイステーションや親子ひろばの存在価値や良さが多く述べられていた。 ・アンケート結果からは利用者の満足度が高かったが、学校に行っていない子や、家庭などに様々な事情を抱えた子どもたちが多く遊びに来ていることから、0歳から18歳未満までの子どもたちが来る遊び場としては、全ての利用者に満足いく形での運営の難しさも抱えているのも事実である。今年度は、さらに、子ども同士のトラブルもあり、年間通じて、職員間の話し合いを多く持ちながら、担当課とも話し合いを重ねてきた。多くの事情を抱えた子どもたちが来ることができる居場所としてのプレイステーション、そして、全ての子どもたちにとつても、よりよいプレイステーションのあり方を考えながら活動をおこなった1年だった。 	4	4

指定管理者評価委員会の評価				
総合評価	評価の理由等		前年度	前々年度
4	市の要求水準を上回っている	<p>利用者に寄り添った運営を行っており、寄せられた意見に丁寧に対応するなど、温かな居場所となっていることがうかがえる。指定管理者は利用者とのコミュニケーションをしっかりととりながら、施設の運営に尽力されていた。また、市として子どもが育まれる環境をどうしたいかということ、発信するメッセージとして重要な取組であると考えられる。</p> <p>昨年度指摘のあったスケートボード利用についてルール作りをするなど、様々な遊びができるとともに、安全な施設運営に引き続き務めていただきたい。</p>	4	4